平成２６年度事業報告

（平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日まで）

一般財団法人本山町農業公社

１．実施事業

継１）農用地利用推進事業（農地利用集積・農作業受委託）

農地利用集積円滑化事業は、当公社を介して安心して農地の貸借を行う制度で、本山町農業委員会や関係機関と連携して事業を実施しました。26 年度末の借入面積は、2,826ａ（うち貸付 1,870ａ・公社中間保有 956ａ）となっています。事業実施にあたっては、担い手や就農希望者に利用集積を進め、担い手の育成や環境保全型農業の推進、耕作放棄地の防止に努めました。

農作業受委託事業については、育苗が昨年を上回る結果となりましたが、水田整地及び刈り取りから籾摺りが若干減少しました。昨年の天候不順が、作業に影響したものと思われます。しかしながら、公社が中間保有して管理する農地が年々増加しています。引き続き農地を守るための取り組みが求められます。

受託農作業実績　　単位：ａ（戸数）

	育苗	水田整地～代掻き	田植え
26 年度	3,608 枚（28）	1,086.3（19）	2,208.5（61）
25 年度	3,041 枚（13）	1,002.2（20）	2,148.8（63）
	刈り取り	乾燥調整	籾摺り
26 年度	3,368.8（62）	1,529.0（78）	6,425 袋（114）
25 年度	4,088.8（75）	1,898.0（98）	7,830 袋（136）

さらに２６年度は、産業活性化未来創造構築事業で、農地管理及び農作業受託事業の「事業推進員」を配置して農地を守る取り組みを行いました。

農地管理にあたっては、町内で長く農業を営む方を「指導員」として雇用し、農地管理の指導を受けながら、適正な管理に努めました。

２．その他事業

他１）米生産事業

土佐天空の郷は、下表のとおり推移してきました。

21 年産	22 人	15.5ha	2,200 袋／30 ｷﾛ	約 66 トン
22	26 人	20.1ha	2,700 袋／30 ｷﾛ	約 81 トン
23	36 人	26.0ha	3,823 袋／30 ｷﾛ	約 114 トン
24	35 人	28.0ha	3,655 袋／30 ｷﾛ	約 109 トン
25	39 人	32.0ha	4,419 袋／30 ｷﾛ	約 132 トン
26	39 人	34.0ha	3,951 袋／30 ｷﾛ	約 118 トン

平成２６年産は、作付面積が増えたものの天候不順により減収となりました。２７年産米は、生産者 40 名、予定作付面積 34ha で、予定収量 4,760 袋（7 俵／反）の確保に向けて取り組みを進めています。

土佐天空の郷の生産にあたっては、本山町特産品ブランド化推進協議会で論議しながら生産拡大に取り組むと同時に、消費者に求められる米づくりを目指しました。また、商品の販売にあたっては、大手卸業者や親交のある米販売店と連携して販路の拡大に努めました。

水田巡回 26 年 7 月

ブランド化推進協議会第 62 回総会

土佐天空の郷収量等比較

	２６年産				２５年産			
	１等	白雲	２等	計	１等	白雲	２等	計
ヒノヒカリ	1,859	40	350	2,249	2,202	335	375	2,912
にこまる	1,104	89	509	1,702	807	143	557	1,507
計	2,963	129	859	3,951	3,009	478	932	4,419
作付面積	約３４ｈａ（ヒノ約 19ha･にこ約 15ha）				約３０ｈａ			
反収	約６俵				約７俵			

本山さくら市での土佐天空の郷販売状況

	2㌔	5㌔	3合	5合
26. 4	５６袋	２１袋	３０個	１２個
. 5	５４袋	２８袋	２１個	１１個
. 6	４９袋	１７袋	２個	８個
. 7	３１袋	２５袋	３８個	２０個
. 8	１７袋	１５袋	２３個	６個
. 9	３７袋	１２袋	２０個	１３個
.10	５２袋	２８袋	１５個	２４個
.11	７７袋	６７袋	４４個	４２個
.12	５６袋	４７袋	２２個	８個
27. 1	２８袋	１７袋	４１個	０個
. 2	３２袋	１０袋	１１個	９個
. 3	２４袋	１３袋	２２個	８個
25.26 年産米計	５１３袋 820,400 円	３００袋 1,139,000 円	２８９個 173,400 円	１６１個 161,000 円

平成 26 年度合計 2,775㌔（30㌔袋 92.5 袋分）2,293,800 円
平成 25 年度合計 1,737㌔（30㌔袋 57.9 袋分）1,375,400 円
平成 24 年度合計 1,822㌔（30㌔袋 60.7 袋分）1,449,000 円
※24 年度（H24.10.27～H25.3.31）

都市との交流イベントでは、本山町特産品ブランド化推進協議会が主催する田んぼアートや棚田コンサートの開催、販売促進活動を通じて、土佐天空の郷の定着を図りました。

本山町有機の里づくり事業と連携した契約栽培米は、3 戸の農家から 51 袋（26 年産米）を買い入れ、ギフ錦とブレンドした「契約栽培米」として、年間契約で販売しました。

さらに昨年６月から、全国農業会議所が実施している「農の雇用事業」を活用して、新規就業者（新規採用職員）に対する研修（業務指導）を行ました。

他２）種苗事業

嶺北管内や県平野部への園芸用苗の供給、産直向けの野菜苗や花苗の生産を行いながら、育苗技術の向上に努めました。しかしながら生産農家の高齢化や離農などで苗の需要は減少しており、種苗事業の売上げは平成 15 年度以降（育苗実績 26,904,829 円）、減少しています。

作付け本数の推移	H24 出荷	H25 出荷	H26 出荷	H27 計画
春苗	55,700 本	52,600 本	45,800 本	44,700 本
夏苗	34,800 本	42,480 本	36,200 本	36,000 本
計	90,500 本	95,080 本	82,000 本	80,700 本

この様な状況の中、効率的な作業体制の確立や施設の有効活用で健全な経営を目指して様々な検討を続けています。県や園芸連と協議をしながら、比較的需要の高い夏のナスの増産に向けての受注調整を行いました。また、本山さくら市などへの家庭菜園向けの野菜苗や花苗の供給にも努めました。

年々増加する稲苗については、ハウス育苗の技術を確立させ、良好な苗の生産に努めました。

種苗事業にも「農の雇用事業」を活用して、職員に対する研修（業務指導）を行いました。

平成２２年２月から開始した特用林産物（シキミ・サカキ）の拠点作り事業は、これまで桑ノ川と下関の圃場、約１ha を借りて再生作業（台切り）を行ってきましたが、枯れ木の影響で、十分な成果（収益）があげられていません。収量を確保するために、大豊町や土佐町の圃場を借り受けて作業を行っていますが、財政支援なしに継続していける状況にはありません。今後、これまで管理してきた圃場の方や嶺北林業振興事務所と協議して、事業の継続について検討していかなければなりません。

平成２６年度育苗実績

品　種	出荷先	年　度	本数（本）	金額（円）
ミニトマト	大豊町ほか	26 年度	4,534	743,285
トマト	嶺北		11,834	1,745,651
シシトウ	本山町・土佐町・大川村・本川		6,698	885,753
ピーマン 三色ピーマン パプリ娘	嶺北		12,739	1,868,916
パプリカ	嶺北ほか		125	27,027
ラークスパー	嶺北		(プラグ蒔)6 枚	7,440
トルコキョウ			(箱蒔) 3 箱	6,480
米ナス	津野町		17,351	3,430,546
ナス	安芸方面		31,900	4,622,390
パプリカ ピーマン	安芸方面		1,000	155,000
合計		26 年度	86,181 (6 枚・3 箱)	13,492,488
		25 年度	108,994	15,354,007
		24 年度	99,011	14,547,096
		23 年度	118,542	14,966,791
		22 年度	143,901	16,211,650

他３）特産品普及事業

産業活性化未来創造構築事業で、６次産業化に向けた取り組みを進めました。

昨年７月に開いた６次産業検討会には、特産品開発を進めながら農業・観光の連携を模索しようと、土佐天空の郷の生産者や汗見川活性化委員会のメンバー、福祉施設の職員など幅広い人が集まり、「そえちゃお本山プロジェクト」を発足させました。会議や研修を重ね、既存の特産品の見直し、新たな加工品の研究や開発を進めました。

公社にも特産品普及の専属職員を配置し、農産物を使ったお菓子やペースト、甘酒の研究を進めています。

販路開拓では、都市部で開催されるイベントや物産展に積極的に参加し、本山町を宣伝する職員の育成や、農産物の普及に取り組みました。参加にあたっては、昨年６月に選定された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」により、出店料や旅費の助成が受けられました。

もちつきは、昨年末、高知空港で行われた「本山町フェア」にあわせて空港の２階ロビーで実施したのと、今年の旧正月、生改グループと合同で、本山さくら市で実施、特産品の販売も同時に行いました。

他４）緊急雇用創出臨時特例基金事業・産業振興推進ふるさと雇用事業

緊急雇用創出臨時特例基金事業（以下「緊急雇用」）、産業振興推進ふるさと雇用事業（以下「ふるさと雇用」）を活用して事業を行いました。

緊急雇用では、特産品の販売力強化に向けて、イベントや物産展への参加、視察研修を実施しました。また、土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業の講習を２名が受講し、地域における食品産業の振興や仕組みづくりを学びました。さらに、パソコン研修や刈り払い機の講習を通じて職員の能力向上に努めました。

ふるさと雇用では、地域農業振興事業に１名、特用林産物（シキミ・サカキ）の拠点作り事業に２名の計３名を継続雇用し、土佐天空の郷の生産による地域農業の振興と特用林産物（シキミ・サカキ）の拠点づくりに取り組みました。

他５）施設管理事業

種苗センター（農業公社事務所）及びライスセンター、本山さくら市の指定管理を受けて業務を行いました。

３．法人管理

（１）評議員・役員（理事・監事）　　平成２７年３月３１日現在

評議員【任期４年】

氏　名	主な職業	就　任　日
今西　芳彦	本山町長	平成２５年４月１日
今西　源一	本山町副町長	平成２５年４月１日
和田　聖寛	農業（元本山町議会議長）	平成２５年４月１日
山下　文一	本山町農業委員会長	平成２５年４月１日
西村　行雄	土佐れいほく農業協同組合組合長	平成２５年４月１日
橋本　浩一	本山町森林組合専務理事	平成２５年４月１日

役員

役職	氏　名	主な職業	就任日
理事長	藤川豊文	藤川工務店代表取締役	平成 25 年 4 月 1 日
専務理事	田岡　学	本山町まちづくり推進課課長補佐	平成 25 年 4 月 1 日
理事	小笠原章仁	土佐れいほく農業協同組合常務	平成 25 年 4 月 1 日
理事	古田浩二	農業	平成 25 年 4 月 1 日
理事	田岡　清	農業	平成 25 年 4 月 1 日
理事	大西千之	本山町まちづくり推進課長	平成 25 年 6 月 21 日
理事	和田耕一	本山町まちづくり推進課主監	平成 25 年 6 月 21 日
監事	畠山憲明	農業	平成 25 年 4 月 1 日
監事	眞鍋　清	公認会計士	平成 25 年 4 月 1 日

役員の定数は、理事３名以上８名以内。監事は２名以内である（定款第 24 条）。
理事の任期は２年、監事の任期は４年である（定款第 28 条）。

（２）評議員会及び理事会の開催状況

年月日	会議等	議題
平成 26 年 5 月 28 日	監査	決算監査
5 月 30 日	理事会	H25 事業報告及び計算書類等の承認 評議員会招集の件 例規集の一部変更の件 20 周年記念事業の件
6 月 25 日	定時評議員会	H25 事業報告及び計算書類等の承認 H26 事業計画及び収支予算報告 規程の一部変更の件 20 周年記念事業の件
11 月 10 日	第２回理事会	職務（業務）執行状況報告 低温倉庫の利用方法の件 太陽光パネル設置の件 土地付きレンタルハウス事業の件 半自動計量梱包機の更新について 評議員の選任及び解任について 第３回理事会の開催について
12 月 19 日	第３回理事会	H26 年度上期事業報告 H26 年度下期事業計画 職員給与の改定の件
平成 27 年 3 月 26 日	第４回理事会	職務（業務）執行状況報告 H27 年度事業計画及び収支予算の件 農作業受託料の決定の件 施設管理契約の更新について ばうむ合同会社への貸付金の件

（３）農業公社設立２０周年記念事業

７月１２日、公社設立２０周年記念事業をプラチナセンターで行い、約７０名が参加。記念講演と交流会が盛大に行われました。

記念講演は、馬路村農業協同組合の東谷組合長で、ディスカバー農山漁村（むら）の宝を受賞した生産者の取り組みを評価しながら、馬路村の商品開発とこれからの展望について、ご自身の経験も踏まえながら話してもらいました。

（４）職員体制

氏　名	役職・担当業務	採　用　等
田岡　　学	専務理事（町から派遣）	平成２２年　４月１日
和田　耕一	理事（町から派遣）	平成１５年　４月１日
髙石　　尚	事務局長	平成　６年　７月１日
眞邊　祐也	事務局次長	平成　９年　４月１日
ﾏｲｹﾙ ｼﾝﾌﾟｿﾝ	特産品普及事業主任	平成　８年　４月１日
筒井　　佑	総務部兼事業部生産班	平成２６年　４月１日
小原　由輝	事業部	平成２６年　４月１日
金子　佳子	法人会計及び運営事務	平成１４年　３月１日
横山　孝容	農作業受委託及び米生産事業	平成２３年　４月１日
山内　　学	地域農業振興事業	平成２３年　９月１日
笹岡　眞幸	特用林産物（シキミ・サカキ）の拠点作り事業	平成２２年　２月８日
細川　雅也		平成１１年１２月６日

附属明細書

事業報告の内容を補足する事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

（資料）

業務経過報告

（平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日）

月　　日	業　務　内　容
４月　１日	新採用職員辞令交付
１６日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会
１７日	農作業オペレーター会
２７日	ファームエイド銀座２０１４春及び商談　～２８日
５月　１日	本山町特産品ブランド化推進協議会第５５回総会
１３日	現地調査対応（農山漁村活性化支援人材バンク）　～１４日
１５日	産業活性化未来創造構築事業に係る農業指導員との業務打ち合わせ
２０日	産業活性化未来創造構築事業に係る農業指導員と現地確認
２４日	販売促進（東京都調布市：山田屋本店「お米館」）
２８日	決算監査
３０日	理事会
６月　２日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会
３日	吉野小学校田植え体験
５日	土佐天空の芸術祭（田んぼアート）準備　～７日
８日	土佐天空の芸術祭（田んぼアート）田植え
	本山町特産品ブランド化推進協議会第５６回総会
１０日	ディスカバー農山漁村（むら）の宝選定証授与式（首相官邸）
１３日	嶺北中学校田植え体験
１６日	本山小学校田植え体験
１９日	土佐天空の郷振興会総会
２５日	定時評議員会
２６日	刈払機取扱作業者安全衛生教育（農業公社）
２８日	四国マルシェ（高松市）　～２９日
７月　３日	６次産業検討会
４日	土佐天空の郷フェア（銀座まるごと高知）　～５日
１２日	本山町農業公社設立２０周年記念事業
１７日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会　同第５７回総会
２２日	土佐天空の郷栽培水田巡回　～２４日
２７日	花キラリ・ＰＪ米取扱説明会 東京会場
２８日	そえちゃおプロジェクト（現地視察及び打ち合わせ）　～２９日
２９日	業務報告（本山町職員自治行政研修）
３０日	ＮＨＫ田んぼアート取材（同日放映）

８月　２日	はちみつフェスティバル 2014（東京都銀座）　～３日
３日	花キラリ・ＰＪ米取扱説明会 大阪会場
６日	視察対応（秋田県農林水産部水田総合利用課）
１９日	アグリフード EXPO 東京　～２１日
２２日	本山町特産品ブランド化推進協議会視察研修（隠岐の島）
２８日	そえちゃおプロジェクト課題別会議及び全体会
９月　１日	ライスセンター稼働
１６日	視察対応（愛媛県たいき農協米麦委員平野支部）
１７日	四国物産展（そごう神戸店）　～２３日
２４日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会　同第５８回総会
１０月　４日	ファームエイド銀座２０１４秋及び商談　～６日
８日	本山小学校稲刈り
１６日	丸の内行幸マルシェ×青空市（東京都丸の内）　～１８日
２３日	２６年産土佐天空の郷初出荷（４００袋）
２５日	土佐天空の芸術祭（田んぼアート）収穫祭
	視察対応（徳島県上山町下分しだれ桜まつり実行委員会）
２８日	吉野小学校稲刈り
２９日	嶺北中学校稲刈り
１１月　３日	視察対応（ピンネ農業協同組合）
８日	ファーマーズ＆キッズフェスタ（東京日比谷公園）　～９日
１０日	第２回理事会　契約栽培米価格検討
１６日	第３５回本山町産業文化祭
１８日	視察対応（本山町議会産業経済土木委員会）
	四国地域市町村農業公社等協議会（本山町）
２３日	第１６回米・食味分析鑑定コンクール（青森県）　～２４日
２６日	住友林業苗木圃場視察（愛媛県新居浜市）
２７日	視察対応（愛媛県久万高原町上浮穴広域営農団地推進協議会）
２８日	嶺北農林業振興連絡協議会農業部会視察研修（津野町）
１２月　１日	そえちゃおプロジェクト視察研修（福岡県柳川市）　～２日
５日	お米日本一コンテストしずおか　～６日
	本山町認定農業者連絡協議会総会・中間管理機構説明会
８日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会　同第５９回総会
１０日	高知龍馬空港「本山町フェア」　～２７年１月
１６日	大掃除
１９日	第３回理事会
２７日	もちつき（高知龍馬空港）

１月　９日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会
１３日	視察対応（玉川学園在校生）
１５日	本山町特産品ブランド化推進協議会第６０回総会
２０日	視察研修（岡山県：漬物店・みのる産業・岡山総合花き）
２月　７日	てんこす５周年テント市
１８日	もちつき（本山さくら市）生改グループとの共同開催 アグリフードEXPO大阪　～２０日
２３日	本山町特産品ブランド化推進協議会第６１回総会　稲作研修会 はくばく・スズノブ講演会
２４日	スズノブとの業務打ち合わせ
２７日	農作業オペレーター会
３月　２日	本山町特産品ブランド化推進協議会役員会　同第６２回総会
３日	そえちゃおプロジェクト　まとめの会
８日	棚田コンサートin高角
９日	視察対応（秋田県立大学）
１１日	食品営業許可証の交付（バイオ室）
１７日	米屋巡回及び市場調査（東京都内及び神奈川県内 計１０店舗）
２０日	嶺北３法人（れいほく未来・ゆとりファーム・公社）合同会議
２６日	第４回理事会